

愛寿会 たより

4月号
第94号
平成19年
4月1日発行



【第二仁生園建設工事の様子】

「第二仁生園」誕生の年にあたって

昭和四十七年に創設された愛寿会は、今年七月には、三十五周年を迎えることとなります。私も三代目理事長として十一年目を迎えることとなりますが、その節目の七月、「第二仁生園」は、スタートするのであります。

第二仁生園は、「身体障害者療護施設」という法律上の性格をもっていますが、新しい「障害者自立支援法」により五年以内には、新しい「施設入所支援給付」というサービスを提供する、「生活介護の場」となり、利用者は、「日中生活の場」としては、「自立支援訓練」（機能訓練・生活訓練）や「就労移行訓練」、さらには「地域生活支援事業」を利用することになります。

目下、株式会社石本建築事務所の設計管理のもと株式会社新津組の施工により建設中であり、この七月一日には、オープンの手配ですが、そのあらまは、次のとおりです。

- 〈所在地〉 北杜市長坂町小荒間二七番地の四
- 〈敷地面積〉 八、一四七平方メートル
- 〈建築面積〉 一、八六六・九一平方メートル
- 〈入所定員〉 三十三名（内ショートステイ三名）

社会福祉法人 愛寿会

理事長 板山 賢治

〈総事業費〉 約四億四千万円

〈施設整備の基本方針〉

- (一) 快適な生活空間Ⅱ全室個室としプライベート空間と個性を尊重、中庭を囲んだユニット構成による家庭的な居住空間づくり
- (二) 地域との交流、解放の場づくりⅡ喫茶ルーム、多目的ホールの整備等
- (三) 環境への対応、寒冷地対策Ⅱ素晴らしい景観の活用、自然の立木を残し、断熱層、ペアガラスの設置、積雪対策等の配慮
- (四) 臭気・防災対策Ⅱ換気、脱臭配慮、防災設備や地元消防団との連携等
- (五) リハビリテーションや作業用設備、生活用具展示、相談コーナー、農園づくり等

高齢者福祉・介護における仁生園は、清水園長を中心とするスタッフの工夫と努力により、相当の評価を受けるレベルにあります。第二仁生園における障害者自立支援サービスの実践は、まさに新しい挑戦としてこれから始まるのであります。

四月一日には、三井施設長他のスタッフがそろい、利用者の皆さんを迎える準備に入ります。

どうか、八ヶ岳南麓における障害者福祉の中核的役割を果たすことが出来るよう各方面のご理解・ご支援をお願いいたします。

(社会福祉法人浴風会 理事長)

料金後納
郵便振替

7-4
佐川物流サービス(株)

返送先: 〒140-0012
品川区勝島1-1-1

差出人(差出発送代行)

申子小包

この荷物をご依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行いたします。

— 理事会開催 —

第百六十八回理事会並びに第十三回評議員会が、三月二十三日に開催され、次の事項について協議されました。

一．諸規程について

○ 愛寿会後援会を四月一日より設置することとなりました。

○ 職員提案制度を設けることとしました。

二．定款の変更について

○ 定款準則に基づく変更について承認されました。

三．平成十八年度補正予算について

○ 本部会計、仁生園会計補正予算が原案通り承認されました。

四．平成十九年度運営方針・事業計画について

○ 愛寿会運営方針及び発展計画を含めた事業計画等提案され承認されました。

五．平成十九年度一般・特別会計予算について

○ 本部会計他七会計の収支予算が原案通り承認されました。

六．発展計画の進捗状況について

○ 進捗状況及びこれからの予定等が報告、説明されました。



— 平成十九年度 愛寿会

— 運営方針・事業計画 —

一．運営方針

二十一世紀の超高齢化者社会へ対応する為、「利用者本位のサービスの実践」「専門性を活かせる職場づくり」「地域社会との協働と貢献」をめざし、八ヶ岳南麓地域における「福祉総合生活支援センター」としての役割を果たすよう、次のような方針を

もって法人の運営に努める。

ア．福祉の基本は、利用者本位のサービスの実現と自立支援にある。そのために、利用者一人ひとりのニーズの的確な把握とサービスの提供に努める。

イ．「仁生園」は、在宅・入所両面にわたり、より良いサービスの実現に努める。

ウ．障害者生活支援施設「第二仁生園」の建設を推進し、ハード・ソフト両面において新しい時代にふさわしい事業運営に努める。

エ．介護保険・支援費制度の改革、施策の進展等に対応して、役職員の意識改革・研究開発を進めるとともにケアワーカーの専門性を磨き、資質の向上に努める。

二．事業計画

十九年度も理事会・評議員会・监事会の開催、情報開示、苦情相談、安全対策、財政基盤の確立、職員の資質向上に努めてまいります。又、愛寿会の発展計画の推進にも努力いたします。詳細はホームページをご覧ください。

三．予算編成方針

ア．予算編成にあたっては、次の要素を勘案しつつ財政の合理化に努める。

- ① 平成十九年度借入金の償還
 - ② 愛寿会発展計画の推進
 - ・ 「身体障害者療護施設」第二仁生園の建設
 - ・ 仁生園二号館二班の改修工事
 - ・ 看取り部屋、医務室、居室等模様替え
 - ③ 利用者への法人減免継続実施
 - ④ 各種経費の節減 目標0.5%
- イ. 事業の努力目標
- ① 特別養護老人ホーム利用率 98.3% ↓ 98.4%
 - ② ショートステイ利用率 9.7名 ↓ 9.7名
 - ③ グループホーム利用率 99.2% ↓ 99.2%
 - ④ 生活支援ハウス利用率 77.0% ↓ 77.0%
 - ⑤ デイサービス年間利用者数 4,500名
 - ⑥ 相談センター年間利用者数 450名
 - ⑦ 身体障害者療護施設「第二仁生園」職員体制及びサービス等の確立

― 平成十九年度入社式 ―

三月三十日（金）に、平成十九年度入社式が行われました。今回、八名を新規学卒で採用し、七月からスタートする「第二仁生園」開設の準備も本格的に始まりました。式では、小澤副理事長と清水園長からお祝いと激励の言葉をいただき、新人職員一同、心が引き締まった様子でありました。早くこの職場に慣れ、より良いサービスを提供できるよう努力していただきたいと思っております。



【小澤副理事長より辞令が手渡されました】

― 法話 ―

三月二十二日（木）、北杜市高根町の養福寺北村住職、韮崎市の永明院河内住職による法話が行われました。北村住職のお話を聞いた後、河内住職から御詠歌を聞かさせていただきました。「彼岸御和讃」など、住職の法話及び歌声に入居者、職員一同心が洗われました。最後に、住職と入居者、職員で合掌し、心身ともに清められました。



【住職の貴重なお話に聞き入っていらっしゃいました】



【箱をめがけて玉を放る入居者のみな様】

三月九日（金）、冬季大運動会が行われ、たくさんのお入居者の方々と職員が参加いたしました。

入居者のみな様は、玉入れや宝釣りなどを行い、職員も一緒に、椅子取りゲームや目隠しリレーなどを行いました。いずれの競技も白熱した戦いとなり、我を忘れて競っていらつしやいました。とても充実したひと時となりました。

― 冬季大運動会 ―



【素敵な合唱を聞かせてくださいました】

三月二日（金）、泉中学校より総合的な学習の時間の一環として、第一学年の生徒のみな様がいらつしやいました。

六つの班に分かれ、カルタや絵合わせ、ボーリングなどで入居者のみな様と交流を深めました。それから、生徒のみな様全員でソーラン節を元氣良く踊り、最後には、心温まる合唱を聞かせてくださいました。

入居者のみな様は、大変喜んでおられました。泉中学校のみな様、どうもありがとうございました。

― 泉中学校福祉活動 ―

ご芳情（三月一日～三月三十一日）

- ・レクボランティアほがらかグループ
- ・レクボランティアゆずっこ会
- ・天理教北巨摩支部
- ・北杜市 金曜会
- ・北杜市 山鳩の会
- ・北杜市 保坂多枝子
- ・北杜市 小野寺毅
- ・北杜市 小尾祐幸
- ・北杜市 小宮山 光彦
- ・北杜市 栗原 信
- ・北杜市 白倉 英喜

利用者状況（三月末現在）

特別養護老人ホーム	一三二名
ショートステイセンター	一〇・一六名
デイサービスセンター	一一一名
グループホーム やすらぎ	九名
生活支援ハウス こあらま	六名

様様様様様様様様様様

ご家族のみな様へお願い

ご登録いただいた緊急連絡先または医療保険証等に変更がある場合には、仁生園までご連絡ください。

担当 相談員 坂本 仁

仁生園のサービスに何かご意見、ご要望や苦情などございましたらこちらまでお寄せ下さい。電話0551-32-3340

担当 清水 俊彦